

シクロケム 寺尾社長が客員教授に 東京農工大・環境資源科学科

シクロケム(株)(神戸市中央区)の代表取締役社長を務める寺尾啓二氏は、この度、東京農工大・農学部・環境資源科学科の客員教授に就任した。

同氏は、京都大学大学院修了後、世界的に知られるドイツの化学メーカー「ドイツワッカーケミー社」に入社。環状オリゴ糖(シクロデキストリン)の研究開発に努め、同社の日本法人の代表を務めた後、現在のシクロケム(株)を設立した。その後、C₆O₁₀に環状オリゴ糖(γ-CD)での包接加工を施し、高い吸収



寺尾啓二社長

性と安定性が得られることやα-CDの抗アレルギー作用などを発見。数々の学会で発表も行ってきた。同氏はこの度の就任に際し、余剰牛乳や余剰マグロの粉末化など、シクロデキストリンの新しい活用方法を広義に広めてゆく傍ら「これまでシクロデキストリンは、人の健康のために役立ってきたが、今後は大気や土壌、水の浄化など、地球環境の改善に役立つ研究開発も現実化させていきたい」と環境学科らしい講義内容を計画している。